備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

（平成17年度事業）

施策名（小項目）	その他事務管理(統計)	コード	担当課	企画財政部　企画課
		06-01-11	電話	64-1806

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系		
	大項目（基本目標）	健全で自立したまちづくり
	中項目（基本施策）	簡素で効率的な行財政運営

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	統計調査業務は、直接市民には、影響しないが、その結果は、国や地方公共団体があらゆる施策に活用している。
② 市民ニーズ (反応、問合せ等)	統計調査についての市民のニーズはない。 個人情報保護法の施行により、民間の調査員による調査票の回収が難しくなっている。
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	国勢調査では、調査員による調査票の回収が難しくなってきており、次回からの調査票の回収は、封入による提出だけでなく、郵送による回収も検討する必要がある。（国が決めること。） また、備前地域の調査員は高齢の方が多く、若返りを図る必要がある。
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	・　調査員の確保 ・　市の統計書の作成 ・ ・ ・ ・ ・

⑤　施策成果指標の検討・設定（基本目標・基本施策・施策意図から検討する）

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
調査員の確保	必要な指導員・調査員数	

施策に対する成果指標名		単位	評価年度 H17			目標値 H23	目標値 H28	ベンチマーク	指標の説明
1 必要な調査員数	目標		329			329	329		大規模調査では調査員の確保が困難
	実績	人	329						
	達成率	%	100.0						
参考1 (回収率はどうですか?)	目標								
	実績								
	達成率	%	#DIV/0!						
参考2	目標								
	実績								
	達成率	%	#DIV/0!						
参考3	目標								
	実績								
	達成率	%	#DIV/0!						

市民意識調査結果	施策名	調査年度		H18	H19	H20	H21	H22
		重要だと思っている市民の割合	%					
		満足している市民の割合	%					

⑥　施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業名（　）はその人件費（単位：千円）	事務事業評価結果 A ～ E (高 ～ 低)	細事業一覧表	担当課長評価 直接事業費（単位：千円） 17年度事業費			優先順位 (A～C)
1 統計(国・県委託)事業 (6,785)	C	国勢調査事務	18,220			C
		工業統計調査事業	632			B
		事業所・企業統計調査事務	48			C
		農林業センサス事務	148			C
2 統計(単市)事業 (60)	E	備前市の統計等作成事務	47			B
		岡山県農林統計協会負担金事務	21			C

この施策に要した費用（人件費込、単位：千円）	H17		
	25,961		

⑦　⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明

⑧　施策の評価

項　目	5：非常に高い　4：高い　3：どちらともいえない　2：低い　1：非常に低い 一次評価 評価	一次評価 判断理由	二次評価 評価	二次評価 判断理由
1　目的達成度	3	統計調査事業は、事故もなく実施できた。市の統計書は作成できなかった。	3	同左
2　事業構成の適当性	3	国の委託事業である。	3	同左
3　施策の有効性	2	調査結果を施策に反映されているのか疑問。	3	調査結果を施策に反映させていくことが重要
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	統計調査は、国の委託事業であり、引き続き実施する必要がある。 統計調査員を登録制にすることを検討する必要がある。 また、合併後の市の統計書を早急に作成する必要がある。		同左	
担当部長コメント	本市の行政実態を正確に捉えた統計書を作成し、市民と協働してまちづくりが進められるよう広く公表していく必要がある。			